



悠久会 埼玉支部 会報

新潟大学 工学部 同窓会

(第17号)

発行：悠久会 埼玉支部

発行者：支部長 田島富二夫 (子43)

編集者：副支部長 鯨井 和幸 (電47)

発行日：平成27年5月5日

悠久会 埼玉支部 総会(第21回)のご案内

拝啓 新緑の候、支部会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

埼玉支部は発足以来 満20年を迎えます。これからも更に活動を活発にすべく、努力を“楽しく”やっていきたいと思っております。

さて、平成27年度の悠久会埼玉支部総会を、下記のとおりご案内いたします。当日は、母校・本部ならびに近隣支部から、多数のご来賓をお招きいたします。ご多忙とは存じますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加いただきますようお願いいたします。

尚、準備の都合上、5月28日(木)までに到着しますよう、同封の葉書にてご出欠のご連絡を頂きたいと思っております。敬具

記

1、日時 平成27年6月13日(土) 11:00~16:00

2、会場 東晶大飯店

住所 さいたま市大宮区宮町2-28 あじせんビル3F

電話 048-644-0881

交通 大宮駅(新幹線・高崎線・宇都宮線・埼京線 等)

東口より徒歩5分

3、式次第

第I部 総会 11:00~12:45

母校・本部近況紹介 他

講演会 (12:00~12:45)

「企業経営を通じて見えたこと - 会社は誰のものか -」

… 北越製紙元社長/新潟大学東京イノベーションクラブ会長

三輪 正明(応化43卒) 氏

第II部 懇親会 13:00~16:00 (…カラオケの二次会、あります。)

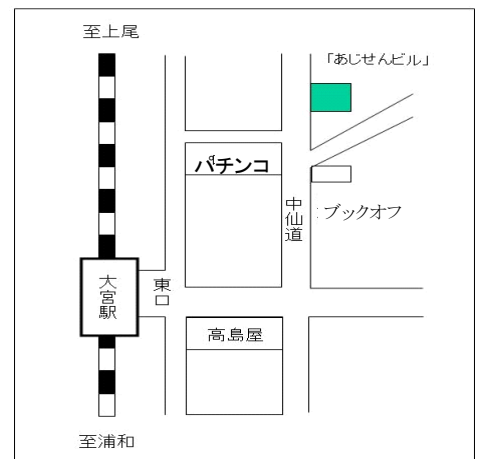
4、会費 7,000円

(但し、平成22~27年卒会員の方は無料、…ご招待とさせていただきます。)

若い会員の方々のご参加を望んでおります。)

尚、返信用葉書にはメールアドレスの欄がありますが、勤務先/ご自宅とも支部からのご案内を差上げても支障の無いアドレスをお書きください。(両方でもかまいません)

ご返信の宛先は、埼玉支部・副支部長(事務局長) 大友 眞(機52)宛てとなります。



支部年会費 納入のお願い

埼玉支部の年会費は2,000円です。支部総会の案内や会報の作成・印刷他、連絡費用等に充当します。同封の郵便振替用紙をご利用ください(通常払込料金無料)。健全な支部活動を継続するためにも、支部会員の証としてぜひ納入いただきますようお願いいたします。

《ごあいさつ》

埼玉支部 支部長

田島 富二夫（子 43）

悠久会埼玉支部の皆様、ご健勝にてご活躍のことと存じます。

今は桜の花も散って、青葉が日増しに大きく、色濃くなってきました。しかし異常気象のためか北海道でも気温30度を超えるという状況も生じています。くれぐれもお身体を大切に健康に留意し、ご活躍されることを祈念致します。

さて、埼玉支部は1995年10月27日に大宮のサンパレスにおいて発足総会を開催して以来20年となります。悠久会本部を初めとして近隣支部の諸先輩方からご指導ご鞭撻を頂きながら無事に今日まで活動を継続することが出来ました。特に2001年と2010年は、2回にわたって全国総会開催の機会を得ることができました。更に東京オリンピック開催の翌年の2021年には3度目となる全国総会の開催支部に名乗りを上げています。元気に活動を継続出来ているのも皆様方のお力添えによるものと考えているところです。ここに改めて深く感謝を申し上げる次第です。

支部役員の世代継承も順調で、比較的若い、昭和50年代の同窓生を中心にして昭和60年卒業の仲間も加わり、一緒に役員活動をしているところです。今後の課題は平成卒の同窓生を役員に迎え、更に活気ある支部活動をおこなって行く事が求められているところです。

特に日常の活動としては年4回開催している埼玉支部主催のウォーキングは支部活動の活性化の上で大きな役割を果たしています。近隣支部の同窓生、他学部同窓生も加わったりして活気ある活動を継続しています。それは何よりも参加者に喜んで貰おうと熱心に企画運営を行う幹事の努力があり、その結果として支部活動の大きな力、活性化の力になっている事も大事な一面です。

更に最近ではホームページ担当者を新たにお願いし、支部ホームページをリニューアルし、事ある度に報告掲載をしているところです。

そうした現状のもとで、支部が発足して20年となる歳を迎えましたが、振り返ってみますとあつという間でした。初代支部長江森氏が他界されてしまったことは大変残念なことです。2001年に江森支部長の下で一度目の全国総会を開催できました。また、2代目の田中支部長の時には新潟大学全学同窓会が発足し、その時の縁で当時の長谷川学長にご来場頂き盛大に支部総会を開催することができました。

更に、悠久会80周年記念事業の一環としての悠久会館の建設にあたっては支部の同窓生の寄付はもちろんのこと、支部総会を開催する度に、会場で臨時の寄付を募り、記念会館建設寄付運動の雰囲気盛り上げることに努めてきました。

このようにいつもその時々状況に見合った活動に力を入れ、とりわけ全国総会開催招致は支部活動を盛り上げる大きな力になるものとして10年を一区切りにして開催を考えてきました。決して十分と言えるような総会とはならなかったと思いますが、悠久会の活性化にはそれなりに役割を果たせたものと考えています。

悠久会は、金銭・取引関係、人間の上下関係の無い、皆が平等な人達の集まりで、それぞれ違った価値観を持つ自由な個人の集まりです。

埼玉支部では発足当初から“**楽しくなければ同窓会ではない**”を合言葉に、気楽に参加できる同窓会、誰でも自由に参加できる同窓会活動を目指しています。

満20年となる今年の支部総会は6月13日(土)に恒例の大宮の東晶大飯店にて開催します。大勢の同窓生の皆様が奮ってご参加下さいます様心よりお願い申し上げ御挨拶とさせていただきます。



悠久会埼玉支部 20 周年に寄せて

元東京支部長
西脇 誠五郎（電 31）

埼玉支部創立 20 周年お目出とうございます。

私が縁あって悠久会東京支部に係わった当時、東京支部会員数は三千人を超えた大所帯でした。当時埼玉県近代工業化が急ピッチで進んでおり、関係する同窓生も多く活躍しており、埼玉支部を分離・独立して頂きたいと言うのが東京支部の願望でありました。

早速その活動に着手、先ず最初に支部を担う支部役員の選出作業に掛りました。

当時同窓会名簿が完備されており、そのページを捲り同窓生が多数働いている企業の最年長者に手紙を書き、悠久会埼玉支部の分離・独立に協力いただきたい、については準備委員を会社から一名選出頂きたいとお願いすることになりました。

選ばれた準備委員と東京支部役員とで東京駅前の東京会館で発足準備会開催にこぎつけ、初代支部長として故江森義雄氏にお願いすることが出来、安堵したことをはっきりと覚えております。

その後の埼玉支部の活躍は著しく、全国総会を既に 2 回引き受けられ、第 3 回目も決まっております。これも埼玉支部の「楽しい支部活動推進」というモットーのもとにユニークな支部活動を推進されてきた結果だと思えます。今後更に飛躍・発展されることを期待致します。

同窓会活動の基本は、先輩・後輩が交流し、色々な意味で助け合うことにあると思えます。

私が社会に飛び立った 50 年程前、同窓会活動は極めて盛んで、先ず会社先輩に歓迎会を開いて頂き、同窓会活動に関わるようにと指導されました。支部の総会には 100 人以上の参加者で溢れ、それはそれは楽しいものでした。先輩から会社のこと、社会のことなど、こと細やかにご指導頂きました。

“今は昔”とは云いますがきっとそんな時代がまた来ると信じて同窓会活動に関わっており且関わって行きたいと思えます。

先輩・後輩が一堂に会して交流する場が少なくとも年一回の支部総会です。更に全国総会があります。

他に関東地区では首都圏同窓会もあります。クラス会も同窓会活動の一環と言えらると思えます。

母校、同窓生と手を取り合って共に人生を歩み楽しみたい … それを実現するのが同窓会活動であります。

最後に一言、私も喜寿を迎えました。今私の楽しみは、同窓会活動（小学校、中学校、高校、大学（新潟大学工学部）、会社のOB会、趣味友達の会、町内会などなど …）。どれもこれも今の私の生きる糧となっています。生きがいとなっています。若い時も年を取っても悠久会活動は私にとって大切です。大事です。是非支部総会に参加頂きたいとお願い致します。

散る桜残る桜も散る桜

～全学的発想の埼玉支部はその先駆けでした～

前（2代目）埼玉支部長

田中 光二（応化40）

季節が逆行致しますが、揚句は江戸の曹洞宗の僧侶で、歌人で書家でもあった越後国三島郡出雲崎町出身 (<http://www.ryokan-kinenkan.jp/>) で、良寛さんの辞世(親鸞作との説もあり)の句であります。意味は、「今美しく咲いている桜でもいつかは散る。散らない桜はないと心得るべきと。」「今華やかな人生を謳歌する人でも、必ず身を引くべき時が来るのだから、リーダーは若手の老害とならぬように綺麗に自らを辞する事が肝要。」の意の秀句で、人生の機微と組織代謝のコツを示唆する处世訓です。

冒頭意図して引用した理由は、埼玉支部の同窓会活性化と無縁では無かったからです。新宿に仮称二水会という学部横断的な親睦団体があったものの、未だ全学同窓会の公式な組織化機運は皆無の時代でした。今風に言うなら新潟大学卒のキャラの際立つOBが、幸い支部の活動周辺に現れたからです。

一人目との出会いは、良寛の書を刊行することで篤志家・好事家の間では無論の事、東京の大手紀伊国屋書店等でも知られる新潟古町の老舗、考古堂書店の人文学部卒の柳本雄司現会長です。オーナーの柳本雄司氏の本業は医学専門書の出版ですが、郷土良寛さんに心酔のあまり和尚についても百数十点が既に考古堂から刊行されております。ぜひ考古堂のURLを併せてネット検索してみてください。

忘れもしない二人目の方は、元東京高検検事長で辣腕弁護士、野球賭博疑惑で揺れ動く(財)日本相撲協会の外部理事長代行の重責に就き見事に再生させた時の人、法学部卒の村山弘義氏であります。演歌歌手小林幸子起用で「四季の新潟」のCDを世に出した氏とは、筆名たなか踏基の私事で恐縮ですが、九谷焼陶匠の物語を描く長編小説『陶匠の血脈』巻末に、過分なご寄稿を賜った経緯がございます。

三人目知遇を受けた方は、二水会他との懇親目的で便乗上京された理学部卒第13代長谷川彰学長でした。支部総会企画の折に、長谷川富市工学部長の招聘?と本部を錯誤させご迷惑を掛けたやに聞き及びますが、東京支部から独立後の10周年記念総会を乗り切り、偶々同姓だった長谷川彰学長を埼玉支部に招聘懇願要請し、第11回総会にご来臨賜ったのみならず会報にも特別にご寄稿戴く快挙は、悠久会初で支部創設以来の嬉しい栄誉光栄と認識致し、本部事務方をも驚かせ近隣支部を羨せがらせました。

以後も、キャラの濃〜い学部の異なるOBの方々との知遇を得、その都度適切にご薫陶ご鞭撻賜った記憶が鮮やかに蘇ります。奮闘する弱小埼玉支部の独自志向に来賓から共感戴いた事も懐かしく、学部は人文学部・法学部・理学部・工学部他と異りましたのに、同窓意識で厚かましくも相互連携させて戴き、他学部・他支部との人脈紹介の労をもお願いし厚誼を賜りました。埼玉支部の独自気風は、次期支部長や若手役員に脈々と受け継がれ近隣支部の憧憬の的?となっております。その後、全学八つの同窓会組織の「～連絡協議会」を経て、遂に平成18年4月1日「全学同窓会」が設立発足されました。

裏をみせ表をみせて散る紅葉

良寛

良寛の手毬は芯に恋の反古

宮坂静生

私見で恐縮ですが、再度良寛さんに戻り好きな上記二句を付記致します。ご興味の諸兄は良寛さんの生に執着する意外な一面を発見できますので、句意の解説を検索してみることをお勧め致します。屹立の詩人宮坂静生は、高校の五年先輩で松本の俳句結社「岳」主宰の泰斗、NHK講座で全国的に人気を博する現代俳句界の重鎮。私も一時「岳」所属でしたが、俳句不向きを悟り退会し雑文書きに転じました。最後に全学及び悠久会関係諸兄の益々のご活躍とご健勝を祈念申し上げて本稿の結びとします。

了

「ふれあい・さいたまウォーキング」活動報告

埼玉支部 副支部長
出井 道夫 (機 52)

埼玉支部の恒例行事「ふれあい・さいたまウォーキング」の活動を報告致します。
歩いて訪ねる埼玉再発見の旅です。平成26年度は、4回のウォーキングを行いました。

第44回 高麗川ふるさと遊歩道(坂戸)を訪ねる旅

期日:平成26年6月21日

関東でも有数の清流と言われる、高麗川の「ふるさと遊歩道」を歩きました。途中で釣り人が、鯉の大物を釣り上げる瞬間を目撃しました。



第45回 小平グリーンロードを訪ねる旅

期日:平成26年9月20日

前年に、玉川上水コース(グリーンロード全体の約半分)を歩きました。今回は残り半分の、野火止用水と狭山・境緑道を訪ね、全ルート踏破しました。



第46回 渋沢栄一のふるさと(深谷)を訪ねる旅

期日:平成26年11月29日

近代日本経済の父 渋沢栄一のゆかりの地を歩きました。生家や移築された歴史的な建物を見学し、渋沢栄一の多大な功績を知ることができました。



第47回 秩父札所巡りの旅

期日:平成27年3月14日

秩父34観音霊場のうち、札所8ヶ所(13~20番)と、神社2ヶ所を訪ねました。また、秩父出身の落語家林家たい平の生家にも立ち寄りしました。



最近には毎回のように東京支部や、人文・経済学部首都圏支部からも参加があります。興味のある方・参加希望される方は、お気軽に下記アドレスにご連絡下さい。県外支部や他学部からの参加も大歓迎です。同窓生と気楽に歩いてみませんか。

連絡先: 出井(機52) kwgid@pop.kcv-net.ne.jp

***** 支部・編集子からのお知らせ *****

※ 今年度の悠久会・全国総会は、京都です。

『おこしやす 二条のお城総会』

・・・6月27日(土)～28日(日) 総会/懇親会 会場：ANAクラウンプラザホテル京都
今回は、講演会に代えて二条城の見学会が計画されています。普通なら見せて頂けない所が見られるかも知れませんね。

参加申し込みの締め切りは、5月22日です。早く申し込まなくっちゃ！。

詳しくは「時報 第127号」、「悠久会ホームページ <http://www.yukyukai.gr.jp/index.html>」をご覧ください。

※ 来年以降の全国総会開催地は、以下の予定です。

・平成28年	千葉	・平成31年	群馬	・平成34年	大阪/兵庫
・平成29年	栃木	・平成32年	長野	・平成35年	長岡(100周年)
・平成30年	東京	・平成33年	埼玉		

しばらく関東近県での開催が続きます。この機会にぜひご参加ください。

※ 昨年から学部卒5年以内の方は、支部総会にご招待とさせていただきます。

更に今年は、これは皆さんですが、支部総会の参加会費を僅かですがお安くしました。

決して支部会計が潤沢でお金が余っているからではありません。

支部設立20年を迎えて、更に活動を活発にするため、大勢の方に来て頂きやすい、若い方にも

参加し易い環境を作ろうと考えました。

私事で恐縮ですが、初めて支部総会に参加した時、知っている人は居るだろうかと不安な気持ち

を抱えながらでした。しかし、案ずるより産むが易し、肩書や立場に関係ない友人や先輩を作る

良い機会です。

埼玉支部の合言葉は、『楽しくなくっちゃあ、同窓会じゃあない！(江森さんの言い方です。)]

6月13日(土)支部総会に、奮ってご参加ください。

※ お忙しい中、原稿を寄せて頂きました 東京支部 西脇先輩、田中前支部長 ありがとうございます。さらなるご活躍を、埼玉支部一同、ご祈念申し上げます。

※ 昨年度(第20回)埼玉支部総会 集合写真です。



6月13日(土) AM11:00「東晶大飯店」で、お待ちしております。